

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コンピューター		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木2限	教室名	pc視聴覚室
担 当 教 員	鈴木大空	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>コンピュータ自体の操作の習熟をはかることはもちろん、ソフトウェア間の連携、コンピュータネットワーク環境の適切な利用ができることに重点を置いて実施する。これにより、在学中ならびに卒業後の情報処理スキルの向上を図る。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 提出物 20% 態度・発表 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
FOM出版 わかるとできるMicrosoftWord・Excel・PowerPoint 2019						
《授業外における学習方法》						
自宅にあるPCを使つての復習等。						
《履修に当たつての留意点》						
MicrosoftOfficeの操作方法を覚える。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	オリエンテーション・復習①	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習	
		各コマにおける授業予定	windows10の機能紹介・説明、授業の流れ解説 前期までに学んだことの復習			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	前期の復習②、ビジネス文書・工夫を凝らした文書の作成	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習	
		各コマにおける授業予定	復習、問題集、請求書等の文書と、図形・表の編集			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	Word、Excelの応用問題・連携した文書の作成	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習	
		各コマにおける授業予定	Word・Excelの応用問題			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	関数への理解をさらに深める①	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習	
		各コマにおける授業予定	四則演算・よく使う関数・応用的な関数を使う①			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	関数への理解をさらに深める②	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習	
		各コマにおける授業予定	四則演算・よく使う関数・応用的な関数を使う②			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	グラフへの理解をさらに深める	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	様々なグラフの作成、編集、グラフを絡めた文書の作成		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	グラフへの理解をさらに深める②	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	様々なグラフの作成、編集、グラフを絡めた文書の作成②		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	関数とグラフを用いた文書・資料作成ができる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	実際の場面で使える資料作成と、文書のまとめ方。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	決められた文書・グラフ等を作成できる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	Word・Excelのまとめ問題集		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	まとめ問題集の続きと、資料集め	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	問題集の続きと、PowerPoint課題の資料集め		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	PowerPoint課題の作成	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	Word・Excelでまとめた資料をPowerPointに変換 課題作成の続き		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	powerpoint課題の作成②	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	課題作成の続き		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題作成と、テスト対策	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	課題作成とテスト対策問題集		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	課題発表	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	powerpoint課題の発表		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	Microsoft Officeでの操作方法を理解し、実践で使うことができるようになる	よくわかる Word2010 Excel2010 PowerPoint2010	PCを使い予習・復習
		各コマにおける授業予定	まとめと試験		

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	介護福祉研究		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年 火曜3・4限	教室名	402
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	看護師として病院に28年勤務した。研究経験は看護学校にて卒論、就職後も院内看護研究に取り組み、研究委員を務め、日本看護学会にも数回発表し、学会論文集に論文を掲載している。			
《授業科目における学習内容》						
高齢者の楽しみ・活動の支援・介助について、グループ研究として取り組む。知識を専門的に身につけ、論文を作成・発表することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
グループ評価・・・研究計画書70%、出席20%、平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
・教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行						
《授業外における学習方法》						
日本介護福祉学会などの研究論文を読んで知見を深める						
《履修に当たっての留意点》						
介護研究とは、介護研究の必要性がわかる、取り組みが介護の質の向上につながり、利用者に還元するものであることがわかる						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究グループで研究計画書の見直しができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	必要な文献を検索し、内容を理解し、研究背景としてとらえる			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究グループで研究計画書の見直しができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	テーマを絞り、背景、目的、意義、仮説の整合性はあるか議論できる			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究グループで研究計画書の見直しができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	研究方法の検討を行う			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究グループで研究計画書の見直しができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	研究方法の検討を行う、対象、調査方法、調査内容について			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究グループで研究計画書の見直しができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく	
		各コマにおける授業予定	研究方法の検討を行う、対象、調査方法、調査内容について			

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	研究グループで調査お願い分を作成することができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	必要な内容を漏れなく折り込む		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容を検討、作成する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	文献等から調査内容を作成する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査内容を検討、作成する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	調査内容を編集する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	調査内容を検討、作成する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	プレテストを行い評価を検討し、調査内容を編集する		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査内容を検討、作成する	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	プレテストを行い評価を検討し、調査内容を編集する		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査用紙の対象を絞り込み、調査対象者へ依頼し、調査を開始することができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	研究依頼書の作成、電話依頼		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	調査の実施開始、回収後の準備ができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	エクセルでデータ入力するためのフォーマット作成		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	データを回収し、エクセルに入力し管理することができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	データをエクセルに入力		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	単純計算から度数分布を出し、項目ごとにおける状況を明確にすることができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	データを分析し、カテゴリー化する		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	収集したデータを統計処理することができる	教科書:「よくわかる介護福祉研究入門」矢原隆行	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	適切な統計方法で分析する		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	業界特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 水曜4限目	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・実習指導者・保育士			
《授業科目における学習内容》						
福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、求められる人材について理解を深める。また就職活動(小論文・履歴書の作成・面接練習等)につなげていく。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
就職活動において、福祉業界の情報や社会情勢など日頃から情報収集できるようにしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
学外活動や就職に関する活動もあるので、積極的に参加し理解を深めること						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	業界特講の授業内容について理解できる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション(授業の流れ) 就職活動にあたっての心得			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界へ見学に行くための準備ができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設や関連する施設、団体を調べる			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界に行き、業界について理解することができる	事前学習で使用した資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設(特別養護老人ホーム)に見学実習に行く			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉業界に行き、業界について理解することができる	事前学習で使用した資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	近隣の福祉施設(千種川リハビリテーションセンター)に見学実習に行く			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	見学実習を通しての学びをレポートにまとめることができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	レポート作成、発表をする			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	近県の医療・福祉施設を知る	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	近県の医療・福祉施設を見学し、介護福祉や医療について学ぶことができる(西播磨総合リハビリテーション)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	近県の医療・福祉施設を知る	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	近県の医療・福祉施設を見学し、介護福祉や医療について学ぶことができる(西播磨総合リハビリテーション)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種協働について学び、介護福祉職の役割を学ぶことができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	介護福祉職とその他関連職と連携することの大切さを学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて準備をすることができる	配布資料	興味がある施設や、関連する企業について調べる
		各コマにおける授業予定	就職活動の心得、進路希望調査、履歴書の書き方を学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて準備をすることができる	配布資料	興味がある施設や、関連する企業について調べる
		各コマにおける授業予定	進路希望調査、履歴書に添削、面接練習		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	ボランティア活動について考える	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	ボランティア活動や社会貢献活動の重要性を学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の専門性をいかしたボランティアについて理解できる	配布資料	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	災害時に介護のボランティアが求められる理由について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護福祉士の専門性をいかしたボランティアについて理解できる	配布資料 動画視聴	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	「災害」とは何か		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各県の介護福祉士会の組織による取り組みについて理解できる	配布資料 動画視聴	近年起きている災害について下調べをしておく
		各コマにおける授業予定	介護福祉士会の取り組みを知り、ボランティア活動にいかせるようになる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期での学びの総復習ができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	これまでの活動や学びを通してどのような介護福祉士になりたいのか、ま目指すのかレポートでまとめることができる		

令和 4 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	健康科学講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 木・1限	教室名	401教室
担当教員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 NSCA-CPT、赤十字救急法指導員			
《授業科目における学習内容》						
<p>現在の高齢者の動向を理解し、健康づくりや運動習慣を定着してもらうために、どのように取り組んでいくかを学ぶ。 また運動の効果や運動の方法について理解する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 定期試験:70% 2. 出席点:20% 3. 平常点:10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>テキスト、配布プリントを参考に復習を行う。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>昨今、健康問題や介護問題が取り上げられること多くなっており、常にアンテナを張り、情報収集をするように心がけてもらいたい。また、それらについて自分たちができる予防・対策の方法などを考えてもらいたい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	現在の高齢化社会や、アクティブシニアの定義を理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	動楽でアクティブ・ライフの延伸を！			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	体力の構成要素や加齢による心肺機能、筋力の低下について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	加齢による体力低下は避けられないか？			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	身体活動の定義や運動による体への効果を理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	健康体力づくりは筋肉への働きかけ！			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	競技スポーツ・健康スポーツの分類、エネルギー供給機構について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	健康スポーツと競技スポーツの違い			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	過去と現在の日常生活の違いや、スポーツ観戦と健康の関係について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。	
		各コマにおける授業予定	座位行動とスポーツ観戦が健康に及ぼす影響			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	BMIと健康度の関連、身体組成と基礎代謝の加齢変化について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	身体組成とエネルギー代謝、健康の関連		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ライフスタイルと糖代謝機能について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	糖代謝機能と筋肉の関係		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動様式と動脈機能の関係について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	運動は動脈機能にどのような影響を及ぼすか？		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	健康に及ぼす遺伝素因について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	シニアの健康に及ぼす遺伝素因とライフスタイルの影響		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ローイング運動と効果について理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	ローイング運動の健康効果		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	年齢による骨量の変化やインパクトスポーツについて理解することができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	骨の健康による運動・スポーツ		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護予防体操や障害者スポーツの理解を深めることができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者体操と障害者スポーツ①		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護予防体操や障害者スポーツの理解を深めることができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者体操と障害者スポーツ②		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護予防体操や障害者スポーツの理解を深めることができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者体操と障害者スポーツ③		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期学習内容の復習を行い、高齢者への運動の効果と運動方法について理解を深めることができる。	アクティブ・エイジング(公益財団法人 健康・体緑づくり事業財団) 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	前期学習内容の復習		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
前期;初級障がい者スポーツ指導員 取得の講義とする。後期;ボランティア活動、地域活動(認知症カフェ・介護予防体操・eスポーツ等)						
《成績評価の方法と基準》						
前期:筆記試験・後期:レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
障がい者スポーツ・障がい者施設のボランティア等の活動をする。居住区の地域活動を調べ介護福祉の関わりを知ることができる。						
《履修に当たっての留意点》						
授業後に配布プリントの復習、ボランティア活動・地域活動の事前調査、事前学習						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	授業用プリント		授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツにおけるインテグリティを理解しプレイヤーズファーストの視点を学ぶ。	授業用プリント		授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	スポーツの指導者インテグリティと指導者に求められる資質②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	授業用プリント		授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念①			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者にとってのスポーツの意義と理念を理解できるようになる。	授業用プリント		授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの意義と理念②			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツ大会の目的、意義について学べる。	授業用プリント		授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要①			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域のスポーツ振興進めていくことができるように、実施競技を知る。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	全国障害者スポーツ大会の概要②		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	スポーツ指導者に求められるコミュニケーションスキルを身につけていく。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	人前で話すこと、相手の意見を傾聴することができるようになる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションスキルの基礎(グループワーク)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者福祉施策とその変換を学べる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツに関する施策を知ることができるようになる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツに関する諸施策		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	スポーツを実施する際の安全管理の基本的な項目と内容を学べる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	安全管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	資格取得後の活動、情報入手方法を知ることができるようになる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者スポーツの推進の取り組み		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設 いちよう園にて体験)		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	障がい者とのふれあいを体験し、障がい受容を知ることができるようになる。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がいのある人との交流 (障がい者施設 いちよう園にて体験)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	障がい者スポーツについての理解を深めていく。	授業用プリント	授業後に配布プリントの復習
		各コマにおける授業予定	障がい者施設のふれあい体験の振り返り・今までのまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	介護福祉特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 火4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
前期;初級障がい者スポーツ指導員 取得の講義とする。後期;ボランティア活動、地域活動(認知症カフェ・介護予防体操・eスポーツ等)						
《成績評価の方法と基準》						
前期:筆記試験・後期:レポート提出 70% 出席 20% 態度(授業に取り組む姿勢)10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
障がい者スポーツ指導教本 初級・中級 (公財)日本障がい者スポーツ協会(編)						
《授業外における学習方法》						
障がい者スポーツ・障がい者施設のボランティア等の活動をする。居住区の地域活動を調べ介護福祉の関わりを知ることができる。						
《履修に当たっての留意点》						
授業後に配布プリントの復習、ボランティア活動・地域活動の事前調査、事前学習						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	前期の振り返り	配布プリント		
		各コマに おける 授業予定	地域活動について			
第 17 回	講義 実習 形式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動①			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動②			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動③			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	地域活動参加			
		各コマに おける 授業予定	地域活動④			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑤		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑥		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑦		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑧		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑨		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動参加		
		各コマにおける授業予定	地域活動⑩		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動を知ることができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	地域活動を知ることができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	活動を理解し、介護福祉職の関わり方を学ぶことができる。		
		各コマにおける授業予定	活動をまとめる。		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの振り返り		
		各コマにおける授業予定	まとめ 課題レポート		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護の基本Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 金曜1限	教室名	402教室
担当教員	奥出 一貴	実務経験と その関連資格	柔道整復師、柔道整復師専科教員 NSCA-CPT、赤十字救急法指導員			
《授業科目における学習内容》						
認知症、失禁、低栄養といった介護予防の基本的知識や転倒予防、筋力向上トレーニングなどの運動指導に必要な知識・技術を学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験70% 平常点10% 出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護予防運動トレーナー養成テキスト 配布プリント						
《授業外における学習方法》						
テキスト、配布プリントを参考に復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
介護予防運動トレーナーの資格を取得するために必要な科目ですが、現場において高齢者への運動指導を行うことが必要になってきており、トレーニングや評価方法などの知識を習得した状態での指導が求められています。現場に出ていることを想定しながら学習しましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護予防の背景やあり方について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを 読み込んで理解し、授 業内で学習した内容を 繰り返し復習して習得で きるようにしておく。	
		各コマにおける 授業予定	介護予防概論			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	老化や高齢者のからだについて理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを 読み込んで理解し、授 業内で学習した内容を 繰り返し復習して習得で きるようにしておく。	
		各コマにおける 授業予定	介護予防概論			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの定義・必要性・効果について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを 読み込んで理解し、授 業内で学習した内容を 繰り返し復習して習得で きるようにしておく。	
		各コマにおける 授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論(定義、必要性、効果)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の筋力向上トレーニングの指導・種類について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを 読み込んで理解し、授 業内で学習した内容を 繰り返し復習して習得で きるようにしておく。	
		各コマにおける 授業予定	高齢者筋力向上トレーニング理論(指導、種類、今後)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢化の現状と介護予防・日常生活支援総合事業について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを 読み込んで理解し、授 業内で学習した内容を 繰り返し復習して習得で きるようにしておく。	
		各コマにおける 授業予定	介護予防マネジメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護予防ケアマネジメントについて理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	介護予防マネジメント		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症の概念、原因、主な症状について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症疾患へのアプローチについて理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	認知症予防理論		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	尿失禁をめぐる問題、尿失禁の種類や対策、排泄に必要な動作と対処法について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	失禁予防理論		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	転倒の定義、発生状況、要因について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	転倒予防プログラムの作成方法と運動指導について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	転倒予防理論		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の食事と問題点、運動と食事について理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	低栄養予防理論		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	行動の基本的な考え方や行動の法則について理解することができるようになる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	行動科学理論		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	セルフ・エフィカシーについて理解することができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	行動科学理論		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期講義内容の復習を行い、理解を深めることができる。	介護予防運動 トレーナー養成 テキスト 配布プリント	テキストや配布プリントを読み込んで理解し、授業内で学習した内容を繰り返し復習して習得できるようにしておく。
		各コマにおける授業予定	前期講義内容の復習		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	コミュニケーション技術(手話)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 木2限	教室名	401
担 当 教 員	庄田明子・木村昭人	実務経験と その関連資格	視覚障がい者手話講師			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害者とのコミュニケーションの技法、手話表現を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
演習70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医療の手話シリーズ 手話で必見！医療のすべて一般財団法人 全日本ろうあ連盟						
《授業外における学習方法》						
生活支援技術Ⅲの教科にて、視覚障害者の接し方学ぶ。						
《履修に当たっての留意点》						
非言語的コミュニケーションの理解を深めていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話の練習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	初対面の挨拶を手話で覚える。	配布資料	手話の練習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	指文字で名前を覚える。	配布資料	手話の練習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	名前と指文字			
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話の練習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	伝えることの重要性を知る			
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	表情、身振りの形を覚える	配布資料	手話の練習をしておく	
		各コマに おける 授業予定	伝えることの重要性を知る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	挨拶を手話で話し身につける。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	簡単な自己紹介をする		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話を身につける。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	日時を表わす手話単語(数字)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	時間の流れを手話で話す	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	1日のことを話す		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	疑問詞の表現を学ぶ。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	疑問詞の表現		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己紹介をする。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	総合的な復習		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	手話を理解している確認ができる。	配布資料	手話の練習をしておく
		各コマにおける授業予定	まとめ 振り返り		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 水曜3限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士、社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、その他検定試験の合格を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験 過去問解説集、介護福祉士国家試験 模擬問題集、介護福祉士国家試験 受験ワークブック						
《授業外における学習方法》						
過去問題集や模擬問題集を活用し、問題に慣れる。試験の傾向を知り、対策をしていく。						
《履修に当たっての留意点》						
模試の結果(素点)が成績評価となります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験までのスケジュールや、内容等の説明			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験の傾向を知る、第34回の国家試験を解く			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	第34回の国家試験の答え合わせ、解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目ごとに対策ノートを作成する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳とコミュニケーション)の試験のポイントを整理する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳と自立)の試験のポイントを整理する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(社会の理解)の試験のポイントを整理する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(コミュニケーション技術)の試験のポイントを整理する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(生活支援技術)の試験のポイントを整理する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験の結果から、学習の習得度を分析する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	過去問題を解き対策をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	生活支援技術 I (被服)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 火2限	教室名	家政・調理実習室
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設にて5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
家事の支援の基本となる知識と技術を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
演習70% 出席20% 態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉養成校座 6 生活支援技術 I (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護保険を学習する。						
《履修に当たっての留意点》						
利用者、家族を尊重する接し方、声かけを実習時に経験し、実習後振り返り、自己分析する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	洗濯の意義 マーク 介助方法学ぶ。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術 I」配布資料		教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	家事介護 洗濯			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	しみ抜きの方法を身につけることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術 I」配布資料		教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	家事介護 しみについて			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	掃除の意義を理解する。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術 I」配布資料		教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	掃除、ゴミ捨ての介助について			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ボタンのつけ方を習得できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術 I」配布資料		教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	裁縫 衣類の補修 裁縫の基礎			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	すそのほつれなおしを習得できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術 I」配布資料		教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	裁縫 衣類の補修 裁縫の基礎			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	家事支援に必要な裁縫を身につけることができる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	裁縫 衣類の補修 裁縫の基礎		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	衣類・寝具の衛生管理の意義を理解でき支援できるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	衣類・寝具の衛生管理		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	衣服のたたみ方を習得していく。(和服のたたみ方)	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	衣類・寝具の衛生管理		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	衣替えの意味について理解することができる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	整理整頓		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者、家族の視点あわせる、好みを尊重した家事支援の方法を学ぶことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	衣類の衛生管理		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	寝具の手入れを学ぶ。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	寝具の衛生管理		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	家事の重要性ちついで学ぶ。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	自立した家事～利用者の全体像を捉える		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	作品を決めていく。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	作品づくり 準備		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	作品を決めていく。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	作品づくり作成		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	作品を決めていく。	最新 介護福祉士養成講座「生活支援技術Ⅰ」 配布資料	教科書や配布プリントを確認しておく
		各コマにおける授業予定	作品づくり完成 試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 水曜1限	教室名	402・介護実習室
担 当 教 員	石浦敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務。実習指導者3年 介護福祉士/保育士/社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
介護現場(実習施設)での実際の介護技術について、事例をもとに学習する。また、疾病や障がいに応じた介護技術の応用も学んでいく。						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規						
《授業外における学習方法》						
実習で学んだ介護技術(生活支援技術)を復習する 生活支援技術の基本・応用を教科書等で予習・復習しておく 関連する動画等も見ておく						
《履修に当たっての留意点》						
実習での体験や学びを発表し、共有していく場でもあるので自分の意見を伝えること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の振り返りをする。(現場で学んだ介護技術を振り返る)	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	介護実習のまとめができるよう準備をする。教科書の指定部分を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-Iで学んだ内容を振り返る			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の振り返りをする。(現場で学んだ介護技術を振り返る)	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	指定の用紙にまとめられるよう実習記録を準備しておく	
		各コマにおける授業予定	介護現場での技術の良かった点と改善点、疑問点をまとめる。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	実習の振り返りを通して、介護技術の確認や復習ができる	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	発表の準備をしておく	
		各コマにおける授業予定	個人でまとめ、発表する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	1年生で学んだ介護技術の基本が理解できている(復習)	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	実習で困難だった介護技術を振り返る			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	1年生で学んだ介護技術の基本が理解できている(復習)	最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	基本的な介護技術の復習ができ、応用につなげることができる			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる①	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる②	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる③	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	肢体不自由のある人の介護技術の実践①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	肢体不自由のある人の介護技術の実践②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	認知症のある利用者に応じた介護実践③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	視覚障害のある人に応じた介護実践④		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	聴覚・言語障害のある人に応じた介護実践⑤		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	試験に向けての対策ができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	事例問題や障がいに応じた介護技術の復習をする		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	試験に向けての対策ができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	事例問題や障がいに応じた介護技術の練習をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月3・4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アセスメント、介護過程を理解の確認ができる。			
		各コマにおける授業予定	アセスメント、介護過程について 振り返り			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の全体像を理解することができるようになる。			
		各コマにおける授業予定	介護過程の理解			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	個別ケアにおけるアセスメントの意義を理解する			
		各コマにおける授業予定	アセスメント			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。			
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護計画の立案の方法を理解できるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護計画の立案 留意点について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	実施後の記録の意義と留意点を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護の実施		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	評価の内容と方法を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	評価		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を用いて介護過程を展開する目的を理解することができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	介護過程の実践的展開		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月3・4限	教室名	402
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護過程の必要性ならびに展開プロセスにおいてアセスメントの介護計画、実践、結果、評価、修正の流れが理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士養成講座 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
介護実習時受け持ちの利用者の情報を整理し、アセスメント、介護計画の立案ができるように、事例の展開をする。						
《履修に当たっての留意点》						
介護実習を学びの機会としていく。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 17 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 18 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	どのような目標を設定し、どのような方法で生活課題を解決しようとしているのか理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程の実践的展開			
第 19 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	ケアプランを理解することができる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント			
第 20 回	講義 形式	授業を 通じての 到達目標	ケアプランと個別援助計画の関係性を理解することができるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	介護過程とケアマネジメント			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	チームアプローチにおける介護福祉士の役割を理解することができる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例にて検討し、介護福祉職の役割を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	チームアプローチにおける介護福祉士の役割		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	事例を通して介護過程展開の実際について学べる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開についての理解の確認ができる。		
		各コマにおける授業予定	総括		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	通年 水曜2限	教室名	402
担当教員	石浦 敬子	実務経験とその関連資格	障がい者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせる学べば。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」 中央法規 実習と記録</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り、実習報告会の準備			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り、実習報告会の準備			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護技術の振り返り			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱの準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	実習する施設について学習する(介護老人保健施設・介護老人福祉施設)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱの準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	実習する施設について学習する(介護老人保健施設・介護老人福祉施設)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の記録物を作成する(下書きをする)	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	「実習を前にして」「個人票」の作成をする		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の記録物を作成する(清書をする)	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	「実習を前にして」「個人票」の作成し、清書をする		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	事前訪問の準備を進める		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設実習について準備していく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事前指導		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設実習について準備していく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事前指導		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習を通して自己評価していく。振り返り	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設の役割、動きの理解度確認ができていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	通年 水曜2限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障がい者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて学べば。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」 中央法規 実習と記録						
《授業外における学習方法》						
介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。						
《履修に当たっての留意点》						
実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。			
		各コマに おける 授業予定	事後指導			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。			
		各コマに おける 授業予定	事後指導			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。			
		各コマに おける 授業予定	事後指導			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。			
		各コマに おける 授業予定	事後指導			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にて介護実習の振り返りができるようになる。			
		各コマに おける 授業予定	実習報告会			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己の介護観、職業観を知ることができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表準備をしていく。		
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護過程の流れの理解が確認できていく。		
		各コマにおける授業予定	後期まとめ 試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	介護実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	通年 実習日	教室名	実習施設
担当教員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設・障がい者施設において実習(160時間)						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」/実習と記録/実習日誌						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマに おける 授業予定	介護実習Ⅱ-I				
第2回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマに おける 授業予定	介護実習Ⅱ-I				
第3回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマに おける 授業予定	介護実習Ⅱ-I				
第4回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマに おける 授業予定	介護実習Ⅱ-I				
第5回	授業を 通じての 到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」	実習日誌等の記録を整理する	
	各コマに おける 授業予定	介護実習Ⅱ-I				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習	実習日誌等の記録を整理する
		各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-I		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	介護実習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	160 (8) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年 実習日	教室名	実習施設
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
介護福祉施設・介護老人保健施設・障がい者施設において実習(160時間)						
《成績評価の方法と基準》						
実習評価70% 出席20% レポート態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」/実習と記録/実習日誌						
《授業外における学習方法》						
介護実習要綱熟読とする						
《履修に当たっての留意点》						
施設実習にて多職種協働、連携を学ぶ 実習最終日指導者と反省会とし、実習の振り返りする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	実習Ⅰー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 17 回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	実習Ⅰー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 18 回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	実習Ⅰー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 19 回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	実習Ⅰー② グループホーム 特別養護老人ホーム			
第 20 回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる			
		各コマにおける授業予定	実習Ⅰー② グループホーム 特別養護老人ホーム			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第22回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第23回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学ぶ		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第24回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第25回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第26回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第27回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第28回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第29回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		
第30回	実習形式	授業を通じての到達目標	施設実習にて、利用者・家族とのコミュニケーション、多職種協働、連携を学び理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	実習 I-③ 介護老福祉施設 介護老人福祉施設		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護発達と老化の理解		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	発達と老化の理解Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期 月曜1限	教室名	402
担 当 教 員	平林 大輔	実務経験と その関連資格	鍼灸師・柔道整復師 関西医療大学 保険医療学修士			
《授業科目における学習内容》						
高齢者に出現しうる疾病、その症状について深く学ぶ。また、介護福祉士として患者さんに対して何が出来るかを考える。						
《成績評価の方法と基準》						
試験評価 80% 出席評価 10% レポート10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 編集 介護福祉士養成講座編集委員会						
《授業外における学習方法》						
解剖学と生理学の知識をつけておくのが望ましい、こころとからだのしくみ・認知症の理解を復習する事						
《履修に当たっての留意点》						
介護を学ぶ上においての基礎知識の一つであるので、板書をしっかりノートに書き込んでおく事						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解 介護福祉士 養成講座編集委	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	身体的な変化と生活への影響				
第2回	授業を 通じての 到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解 介護福祉士 養成講座編集委	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	身体的な変化と生活への影響				
第3回	授業を 通じての 到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解 介護福祉士 養成講座編集委	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	身体的な変化と生活への影響				
第4回	授業を 通じての 到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解 介護福祉士 養成講座編集委	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	心理的变化と生活への影響				
第5回	授業を 通じての 到達目標	老化にともなうこころとからだの変化と生活が理解出来るようになる		介護福祉士 養成講座 12 発達と老化の理 解 介護福祉士 養成講座編集委	こころとからだのしくみ・ 認知症の理解を復習	
	各コマに おける 授業予定	心理的变化と生活への影響				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	老化にともなうところとからだの変化と生活が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	社会的な変化と生活への影響		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	健康長寿に向けての健康		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者の症状・疾患の特徴		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	高齢者に多い疾患・症状と生活上の留意点		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者と健康が理解出来るようになる	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	保険医療職との連携		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	テストによって理解度を確認し、知識の定着を図る	介護福祉士養成講座 12 発達と老化の理解 介護福祉士養成講座編集委	ところとからだのしくみ・認知症の理解を復習
		各コマにおける授業予定	まとめ・前期試験		

学 科	介護福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	402
担当教員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それにどのように対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、食事に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、食事に関連したしくみを理解する。				
第2回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、排泄に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、排泄に関連したしくみを理解する。				
第3回	授業を通じての到達目標	1年後期の講義内容を振り返り、睡眠に関連したしくみについて説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	1年後期講義振り返り、睡眠に関連したしくみを理解する。				
第4回	授業を通じての到達目標	人が移動する必要性や移動の効果について説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第1節 人が移動するためのからだのしくみを理解する。				
第5回	授業を通じての到達目標	移動が不自由になる要因を説明できる		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したこころとからだのしくみの講義 第2節 移動が不自由になると生じる状態について理解する。				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	移動について日常生活の観察のポイントを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第3章 移動に関連したころとからだのしくみの講義 第3節 介護をするべきか、訓練や治療をするべきかの判断のポイントを理解する。		
第7回	講義形式	身じたくに関連するからだのしくみについて説明できる(目、耳、爪・毛髪・口腔・歯・舌)	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第1節 身じたくに関連するからだのしくみについて理解する		
第8回	講義形式	心身の機能低下身じたくに及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第2節 身じたくを整えることを妨げる要因について理解する		
第9回	講義形式	変化の気づきと対応について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第4章 身じたくに関連したころとからだのしくみの講義 第3節 身じたくのなかで気づくことのできる心身の変化や機能低下を把握するための観察事項を理解する		
第10回	講義形式	。と清潔保持の必要性について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第1節 入浴・清潔の意義と効果について理解する。入浴・清潔保持のしくみについての汚れが皮膚に及ぼす影響を理解する		
第11回	講義形式	心身の機能低下が入浴・清潔保持に及ぼす影響について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第2節 心身機能の低下が及ぼす清潔保持への影響について理解する		
第12回	講義形式	入浴・清潔保持の前に確認する内容について説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第6章 入浴・清潔保持に関連したしくみの講義 第3節 入浴・清潔保持の前に確認する内容や、心身の状態について理解する。 変化の気づきと対応について理解する。		
第13回	講義形式	死にゆく人に関連したしくみを説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみの講義 第1節 終末期に関する基礎知識や死の捉え方について理解する。看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する		
第14回	講義形式	終末期から「死」までの変化と特徴を説明できる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	第9章 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみの講義 第2節 終末期から死までの身体機能の変化を理解する。状況に合わせた対応について理解する。		
第15回	講義形式	移動・身じたく・入浴に関連したころとからだのしくみについて振り返りを行い、説明できる知識を深めることができる	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	移動・身じたく・入浴に関連したころとからだのしくみについて振り返りを行い、理解する		

学 科	介護福祉士		科 目 区 分		授業の方法	演習
科 目 名	医療的ケア(講義)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 月曜2限	教室名	402・介護実習室
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療職との連携のもと医療的ケアを安全・適切に実施できる様に必要な知識・技術を習得出来る

《成績評価の方法と基準》

科目終了試験:70% 出席評価点20% 平常評価点10%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

授業における小テストや配布プリント・授業内容の復習をしっかりと行い授業に臨む

《履修に当たっての留意点》

医療的ケアは利用者に直接的な影響を与えるケア技術である。正しい知識・技術の取得を持って安全な医療的ケアを行える様に介護福祉士を目指す。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回 講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸維持の必要性、呼吸のしくみを理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・生命維持における呼吸の重要性について ・呼吸のしくみと主な呼吸器官の各部の名称と機能について ・換気とガス交換について 		
第2回 講義形式	授業を通じての到達目標	いつもと違う呼吸状態を推測する為の項目を理解できる 呼吸の苦しさがもたらす苦痛と障害が理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う呼吸状態について ・呼吸困難がもたらす苦痛と障害について 		
第3回 演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引が必要な状況を理解し理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・痰を生じて排出するしくみや・痰の貯留を示す状態について ・喀痰吸引が必要な状態について 		
第4回 演習形式	授業を通じての到達目標	人工呼吸器のしくみ生活支援における留意点が理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・人工呼吸器装着者に対する吸引、生活支援の留意点について ・人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医療職との具体的な連携内容について 		
第5回 演習形式	授業を通じての到達目標	子供の吸引に関する留意点や利用者・家族の吸引に対する気持ちに沿った対応を行う為の必要性を理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の吸引の留意点について ・利用者、家族の気持ちに沿った対応と留意点について 		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・吸引に伴う呼吸器系の感染の状態と感染予防策について理解できる。 ・喀痰吸引に伴う危険、事後の安全確認について理解できる 	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	呼吸器系の感染が起きた可能性を示す状態を知りまた感染の予防する為の予防策を学ぶ。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引実施する事で生じる危険について学ぶと共に急変や事故発生時の対応について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	急を要する状態の対応方法と急変、事故発生時の対応、多職種との連携体制について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	喀痰吸引で用いる物品の取り扱い、喀痰吸引の手順の留意点について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	喀痰吸引の一連の流れの留意点、ケア、実施後の報告の仕方について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	経管栄養概論を学ぶことで消火器系の役割・機能、消化・吸収のしくみを理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器官のしくみと役割、機能について ・嚥下のしくみについて 		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	消化・吸収とよくある消化器症状について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・消化・吸収について ・よくある消化器の症状について 		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養とは何かを知り、栄養を注入する際に必要な知識について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養が必要な状態について ・経管栄養のしくみと種類、経管栄養剤の種類、投与方法について 		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養実施時の留意点について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養の実施時の留意点について ・子供の経管栄養について 		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養に関係する感染予防について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	経管栄養を行っている状態の感染予防と口腔ケアの重要性について		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養を受ける利用者と家族の気持ちと対応、説明と同意について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族の経管栄養に対する気持ちにそった対応と留意点について ・経管栄養の実施に関する説明と同意について 		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認や急変、事故発生における対応について理解できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
		各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ・経管栄養により生じる危険の種類について ・ヒヤリハット・アクシデントの実施と報告について ・緊急を要する症状について 		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科目名	社会の理解		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	二年生		学期及び曜時限	前期 木曜4限目	教室名	402教室
担当教員	萩原 恭子	実務経験と その関連資格	社会福祉士。障害者施設にて5年勤務。			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>本講義では、住んでいる地域を基盤とした利用者の生活とその継続的な支援についての基礎的知識と、社会保障の制度や施策について基礎的な知識を身につけることを目的とする。社会の理解後半の学期(2022年前期)では、次の3点について学ぶ。</p> <p>①高齢者保健福祉と介護保険制度。 ②障害者保健福祉と障害者総合支援制度。 ③介護実践に関連する諸制度。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>①素点 定期試験、小テスト等の得点 70% ②出席評価 20% ③平常評価 レポート、授業態度、ノート等 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>中央法規出版 介護福祉士養成講座社会の理解。福祉法令集。</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>社会の現在と変化を知るために、新聞等で社会福祉に関する事項を読む。その中から関心を持った内容について自分なりの考察を行い、クラスでプレゼンテーションを行い、情報を共有する。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉の動向	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉制度の基本的な仕組みを理解し、現状、課題をとらえる。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健福祉に関連する法体系	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	高齢者の生活を支えるために関連する法体系の中で高齢社会対策基本法、老人福祉法、老人福祉計画、老人保健法、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度について概要を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する1			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する2			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護保険制度3	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	介護保険制度の内容を理解する3			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉の動向	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障害者福祉の歴史をふまえ障害者福祉の理念を理解し、障害者福祉の動向の基礎を学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者保健福祉に関連する法体系	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障害者保健福祉の法体系の全体像を把握し、各法律における障害者の定義を学ぶ。障害児の支援制度を知る。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度が出来上がるまでの背景や目的を理解し、国、都道府県、市町村の役割を知る。自立支援給付と地域生活支援事業について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害者総合支援制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	障害者総合支援制度法の利用手続きを学ぶ。また、相談支援の重要性を理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	個人の権利を守る制度・施策を理解する。4つの虐待防止法について学ぶ。成年後見制度と日常生活自立支援事業について目的と違いを通して理解する。消費者保護、個人情報保護、第三者評価、苦情解決・不服申し立ての各制度について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	保健医療に関する制度・施策について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度3	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策を学ぶ。生活保護法、生活困窮者自立支援法の概要について理解する。その他の貧困対策、生活困窮者支援に関する制度・施策について理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護実践に関連する諸制度4	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	地域生活を支援する制度・施策について学ぶ。就労支援・雇用促進に関する制度、住生活を支援する制度、自殺を予防する制度について理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ1	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	高齢者保健福祉と介護保険制度、障害者保険制度と障害者総合支援制度をふりかえる。演習を行う。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	社会の理解後半まとめ2	最新 介護福祉士養成講座2「社会の理解」	新聞やインターネットを活用し、社会福祉に関する情報を収集しておく。教科書の指定ページを読んでおく。
		各コマにおける授業予定	虐待防止法、生活保護法、生活困窮者支援法等についてふりかえり演習を行う。		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 限目	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
他の科目で学習した知識、技術を統合して、介護展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% 授業態度、平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
自己学習として、事例を見つけ介護計画立案していく。						
《履修に当たっての留意点》						
他科目の復習をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の理解の確認			
		各コマにおける授業予定	前期の振り返り 事例で考える			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の理解の確認			
		各コマにおける授業予定	前期の振り返り 事例で考える			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。			
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。			
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。			
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護過程の展開ができるようになる。		
		各コマにおける授業予定	利用者の生活と介護過程の展開 事例		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認		
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護過程		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期 限目	教室名	401
担 当 教 員	上木大雅	実務経験と その関連資格	介護福祉士 介護老人保健施設5年勤務			
《授業科目における学習内容》						
他の科目で学習した知識、技術を統合して、介護展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席 20% 授業態度、平常点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新介護福祉士 介護過程 9 (中央法規)						
《授業外における学習方法》						
自己学習として、事例を見つけ介護計画立案していく。						
《履修に当たっての留意点》						
他科目の復習をする。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認			
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認			
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る			
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認			
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。			
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る			
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。			
		各コマにおける授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		
第22回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		
第23回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者の生活課題を明らかにするまでのアセスメントの過程を考 えることができるようになる。		
		各コマに おける 授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		
第24回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	実習時の受け持ち利用者の介護計画を振り返る		
第25回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	利用者の特性に応じた介護過程の展開		
第26回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	利用者の特性に応じた介護過程の展開		
第27回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	利用者の特性に応じた介護過程の展開		
第28回	講義 形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	利用者の特性に応じた介護過程の展開		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	利用者のアセスメントを確認 事例研究の準備ができる。		
		各コマに おける 授業予定	利用者の特性に応じた介護過程の展開		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	事例を通して介護過程の展開方法が理解できる。		
		各コマに おける 授業予定	事例研究完成		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時間	通年 水曜2限	教室名	402
担当教員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障がい者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
<p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせる学べば。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」 中央法規 実習と記録</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り、実習報告会の準備			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護実習の振り返り、実習報告会の準備			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	1年時の実習をまとめ、施設の動き、役割を学んでいくことができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	介護技術の振り返り			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱの準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	実習する施設について学習する(介護老人保健施設・介護老人福祉施設)			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習Ⅱ-Ⅱの準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。	
		各コマにおける授業予定	実習する施設について学習する(介護老人保健施設・介護老人福祉施設)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の記録物を作成する(下書きをする)	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	「実習を前にして」「個人票」の作成をする		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の記録物を作成する(清書をする)	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	「実習を前にして」「個人票」の作成し、清書をする		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習の準備ができる	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	事前訪問の準備を進める		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設実習について準備していく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事前指導		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	施設実習について準備していく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事前指導		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実習を通して自己評価していく。振り返り	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	利用者の体験発表をし、介護について学びを深めていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	実習事後指導		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	施設の役割、動きの理解度確認ができていく。	最新 介護福祉士養成講座10 「介護総合演習 介護実習」 実習と記録	教科書の指定ページを読んでおく。介護研究や介護過程とも関連するので予習・復習をしておく。
		各コマにおける授業予定	前期のまとめ		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	介護総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年 水曜2限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障がい者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>実習にむけて、実習の目的、意義、実習生としての心得マナー、又実習記録の書き方、介護過程の展開等実習と組み合わせて学べば。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>定期試験 70% 出席 20% 授業態度 レポート 10%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習 介護実習」中央法規 実習と記録</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>介護過程、介護総合演習の教科書熟読とする。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>実習施設で、事前オリエンテーションを行う。実習施設の動き、役割を学習し、実習に備える。</p>						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		最新 介護福祉 士養成講座「介 護総合演習・介 護実習」実習と記 録	実習報告会に向けて準 備する。タブレット使用	
	各コマに おける 授業予定	事後指導				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		最新 介護福祉 士養成講座「介 護総合演習・介 護実習」実習と記 録	実習報告会に向けて準 備する。タブレット使用	
	各コマに おける 授業予定	事後指導				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		最新 介護福祉 士養成講座「介 護総合演習・介 護実習」実習と記 録	実習報告会に向けて準 備する。タブレット使用	
	各コマに おける 授業予定	事後指導				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にむけて準備をしていく。		最新 介護福祉 士養成講座「介 護総合演習・介 護実習」実習と記 録	実習報告会に向けて準 備する。タブレット使用	
	各コマに おける 授業予定	事後指導				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	実習報告会にて介護実習の振り返りができるようになる。		最新 介護福祉 士養成講座「介 護総合演習・介 護実習」実習と記 録	実習報告会に向けて準 備する。タブレット使用	
	各コマに おける 授業予定	実習報告会				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護実習後の学びの共有し、介護計画の振り返りができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自己の介護観、職業観を知ることができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	実習報告会の振り返り		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	事例研究について準備ができるようになる。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発表準備をしていく。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	事例研究について		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介護過程の流れの理解が確認できていく。	最新 介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」実習と記録	研究発表に向けて準備していく。PC・タブレット使用
		各コマにおける授業予定	後期まとめ 試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	国際福祉論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士・社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
海外の福祉と文化を学び、見学をする。海外(アメリカ)の医療・福祉、また関連する制度に触れ、福祉の展望や課題について考える。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
海外や日本の社会情勢についても情報収集しておく						
《履修に当たっての留意点》						
英会話の授業もあるので、英語の復習をしておくこと。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際福祉論の概要が理解できる	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	アメリカにおける医療・福祉の現状と今後を学ぶ。レポート作成			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカの医療・福祉の理解	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	現地講師による講義により、アメリカ医療の現状を理解する			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	英会話講師による日常英会話、医療機関での英会話を身に付ける	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	日常英会話および医療英会話の基礎を学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	英会話講師による日常英会話、医療機関での英会話を身に付ける	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	日常英会話および医療英会話の基礎・応用を学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	英会話講師による日常英会話、医療機関での英会話を身に付ける	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく	
		各コマにおける授業予定	日常英会話および医療英会話の応用を学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	英会話講師による日常英会話、医療機関での英会話を身に付ける	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく
		各コマにおける授業予定	日常英会話および医療英会話の応用を学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	英会話講師による日常英会話、医療機関での英会話を身に付ける	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく
		各コマにおける授業予定	医療機関の受付において、患者・利用者との基本的なやりとりを英会話形式で学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	現代社会に求められる人材について考える	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく
		各コマにおける授業予定	求められる人材になるために必要とされる国際教育や英語を学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	ゲストスピーカーからの話を聞き、レポートをまとめることができる	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。英語を復習しておく
		各コマにおける授業予定	卒業生から海外研修での様子を聞き、海外の福祉施設の現状、展望を知ることができる		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉施設での多職種連携の在り方を学ぶ	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。
		各コマにおける授業予定	海外や日本での医療(看護)と福祉(介護)の多職種連携		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	医療現場での多職種連携の在り方を学ぶ	配布資料	海外の医療や福祉について調べる。
		各コマにおける授業予定	海外や日本での医療(看護)と福祉(介護)の多職種連携		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカと日本の医療制度の違いについて理解できる	配布資料	配布資料を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	アメリカの医療制度、その他の制度を調べる		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	アメリカと日本の医療制度の違いについて理解できる	配布資料	配布資料を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	日本の医療制度、介護保険制度についてまとめる		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	海外と日本の医療制度を比較し理解を深めることができる	配布資料	配布資料を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	医療制度、介護保険制度等の違いについて学び、発表する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国際福祉論での学びを発表することができる	配布資料	配布資料を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	まとめと発表		

学 科	介護福祉科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	こころとからだのしくみ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対象学年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	402
担当教員	笠 陽子	実務経験とその関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			
《授業科目における学習内容》						
からだの基本的なしくみの理解、こころがからだに及ぼす影響について学ぶ。また、生活の障害はどのようなメカニズムで生じるのか、それに対応するのかを学び、学生が根拠を持って生活援助の妥当性について説明することができる。						
《成績評価の方法と基準》						
科目修了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) からだのしくみ事典(成美堂出版)						
《授業外における学習方法》						
授業で学んだ内容をノート等にまとめ、生活援助技術などの他科目と関連づけて学習できるよう復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
精神的・身体的・社会的な健康を理解したうえで、利用者の健康状態を判断する基準、そして介護福祉士として利用者の生活の困難さを測る基準となる知識をしっかりと理解していきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について 看取りでの尊厳死の保持の意味を理解する				
第2回	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・前期配布プリントを事前に復習しておくこと	
	各コマにおける授業予定	「死」に対する心の理解 死に対する不安や恐怖、死を受容する段階、家族を死を受容する段階(DVD視聴)				
第3回	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	終末期から危篤状態、死後の身体機能の変化				
第4回	授業を通じての到達目標	人生の最終段階のケアに関連したこころとからだのしくみについて理解する		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	終末期における医療職との連携 状況に合わせた対応について				
第5回	授業を通じての到達目標	1年時の振り返り こころのしくみについて理解する		・教科書 最新介護福祉士養成講座 こころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと	
	各コマにおける授業予定	健康とは、人間の欲求の基本的理解、自己概念と尊厳について				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年時の振り返り からだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	身体各部の名称、ホメオスタシス、バイタルサインについて		
第7回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年時の振り返り 移動に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	移動に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、移動に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第8回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 身じたくに関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	身じたくに関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、身じたくに関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第9回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 食事に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	食事に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、食事に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第10回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、入浴、清潔保持に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第11回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 排泄に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	排泄に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、排泄に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第12回	講義形式 授業を通じての到達目標	1年次の振り返り 休息・睡眠に関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	休息・睡眠に関連したころとからだのしくみ、機能の低下、障害が移動に及ぼす影響、休息・睡眠に関するころとからだの変化の気づきと医療職などとの連携		
第13回	講義形式 授業を通じての到達目標	復習 人生の最終段階のケアに関連したころとからだのしくみについて理解する	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	人生の最終段階に関する「死」の捉え方について、死に対するこころの理解、終末期の身体変化について		
第14回	講義形式 授業を通じての到達目標	ころとからだのしくみ総まとめ	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・教科書の指定部分を事前に読んでおくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	1, 2年の授業振り返り		
第15回	講義形式 授業を通じての到達目標	授業まとめ、国家試験過去問	・教科書 最新介護福祉士養成講座 ころとからだのしくみ(中央法規) ・配布資料	・後期授業内容の振り返りを行う事前に行っておくこと ・授業終了時に提示する課題を実施しておくこと
	各コマにおける授業予定	振り返り、まとめ、試験対策		

学 科	介護福祉士		科 目 区 分		授業の方法	演 習
科 目 名	医療的ケア(演習)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	笠 陽子	実務経験と その関連資格	病院に28年間看護師として勤務。整形外科病棟、内科病棟、皮膚科耳鼻科形成外科混合病棟、人工透析室に勤務。主業務は患者の療養上の世話と生活指導。1ヶ月のみデイサービス経験有り。			

《授業科目における学習内容》

医療的ケア・吸引/経管栄養

1、基本研修(講義形式、定時間50時間以上)2、演習(基本研修修了者)3、喀痰吸引(航空・鼻腔5回以上)気管カニューレ内部5回以上)4、経管栄養(胃ろうまたは腸瘻5回以上、経鼻経管栄養5回以上)5、実施研修(可能な限り)*併せて救急蘇生法演習についても1回以上実施

《成績評価の方法と基準》

①医療的ケア行為が安全に施行できること②ケアにより利用者の苦痛が取り除けたり、軽減できること③利用者・家族の命を守り、生活の質の向上に結び付くこと④介護福祉士のモチベーションとなり、高揚、維持に結び付くこと⑤医療的ケアを行うことで介護福祉士の社会的評価に結び付くこと。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:最新介護福祉士養成講座15 医療的ケア 中央法規出版 2019.

《授業外における学習方法》

実技:4回実施後5回目試験 5回目に合格しなければ、合格するまで実施 5回目で合格とそれ以降で合格70%+
評価:合格70%+出席と授業態度30%

《履修に当たっての留意点》

高齢者を支援できるよう学ぶ。

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標 口腔、鼻腔、気管カニューレからの喀痰吸引の手順と留意点について説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔、鼻腔、気管カニューレからの吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標 口腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標 口腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 口腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標 鼻腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標 鼻腔からの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本 日取り組む内容の予習 を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 鼻腔吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。		

授業の方法		内 容			授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	気管カニューレからの吸引の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 気管カニューレ吸引の手順、留意点、急変・事故発生時の対応と事前対策について理解する。			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻、経鼻、腸瘻による経管栄養の手順が説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する。			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 胃瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 経鼻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	胃瘻による経管栄養の演習ができる 腸瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	胃瘻腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策 胃瘻腸瘻による経管栄養に必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	腸瘻による経管栄養の演習ができる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使ったデモンストレーション演習 腸瘻による経管栄養概論・急変・事故発生時の対応と事前対策と 必要な知識・技術を身に着け、実施手順を理解する			
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	救急蘇生法、AEDの使い方について説明できる	医療的ケア メディカルフレンド社	予め教科書を読み、本日取り組む内容の予習を行なっておく
	各コマにおける授業予定	人形を使って救急蘇生法、AEDを用い、一連の救助活動の理解ができる			

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	業界特講		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期 水曜4限目	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務/介護福祉士・社会福祉主事任用資格・実習指導者・保育士			
《授業科目における学習内容》						
福祉業界で活躍する方々の講義や現場を見学し、求められる人材について理解を深める。また就職活動(小論文・履歴書の作成・面接練習等)につなげていく。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
就職活動において、福祉業界の情報や社会情勢など日頃から情報収集できるようにしておく。						
《履修に当たっての留意点》						
学外活動や就職に関する活動もあるので、積極的に参加し理解を深めること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて情報収集することができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	興味がある施設、企業の情報等を調査する			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職活動に向けて情報収集することができる	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	福祉業界の方から話を聞く			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職支援について	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	履歴書の作成、面接練習、小論文の作成			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職支援について	事前学習で使用した資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	面接練習、小論文の練習			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉施設や関連する事業所等へ見学をし、理解を深める	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる	
		各コマにおける授業予定	福祉施設、事業所等の見学			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉施設や関連する事業所等へ見学をし、理解を深める	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	福祉施設、事業所等の見学		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	卒業生から話を聞き、就職活動につなげていく	配布資料・レポート	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	卒業生との交流		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	卒業生から話を聞き、就職活動につなげていく	配布資料	福祉業界、その他関連する業界等について調べる
		各コマにおける授業予定	卒業生との交流		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	国家試験過去問・模擬問題集	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	国家試験過去問・模擬問題集	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	国家試験過去問・模擬問題集	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	配布資料	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	配布資料	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	配布資料	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題集を活用し問題を解く		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	総まとめをする	配布資料	国家試験講座と併せて学習していく
		各コマにおける授業予定	総まとめ、試験対策		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 水曜3限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士、社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、その他検定試験の合格を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験 過去問解説集、介護福祉士国家試験 模擬問題集、介護福祉士国家試験 受験ワークブック						
《授業外における学習方法》						
過去問題集や模擬問題集を活用し、問題に慣れる。試験の傾向を知り、対策をしていく。						
《履修に当たっての留意点》						
模試の結果(素点)が成績評価となります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験までのスケジュールや、内容等の説明			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験の傾向を知る、第34回の国家試験を解く			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	第34回の国家試験の答え合わせ、解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目ごとに対策ノートを作成する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳とコミュニケーション)の試験のポイントを整理する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳と自立)の試験のポイントを整理する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(社会の理解)の試験のポイントを整理する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(コミュニケーション技術)の試験のポイントを整理する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(生活支援技術)の試験のポイントを整理する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験の結果から、学習の習得度を分析する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	過去問題を解き対策をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	国家試験講座		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時間	前期 水曜3限	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士、社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。また、その他検定試験の合格を目指す。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験 過去問解説集、介護福祉士国家試験 模擬問題集、介護福祉士国家試験 受験ワークブック						
《授業外における学習方法》						
過去問題集や模擬問題集を活用し、問題に慣れる。試験の傾向を知り、対策をしていく。						
《履修に当たっての留意点》						
模試の結果(素点)が成績評価となります。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験対策ができる		過去・模擬問題 集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使 い、学習する。教科書で ポイントを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(生活支援技 術)				
第 17 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験対策ができる		過去・模擬問題 集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使 い、学習する。教科書で ポイントを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理をする(介護過程)				
第 18 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験模試を受ける		過去・模擬問題 集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使 い、学習する。教科書で ポイントを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	国家試験模試を受け、問題の傾向性を知る				
第 19 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験模試を受ける		過去・模擬問題 集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使 い、学習する。教科書で ポイントを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	国家試験模試を受け、問題の傾向性を知る				
第 20 回	授業を 通じての 到達目標	国家試験対策ができる		過去・模擬問題 集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使 い、学習する。教科書で ポイントを確認しておく。	
	各コマに おける 授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(発達と老化の 理解)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(認知症の理解)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(障害の理解)		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験模試を受ける	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験模試を解き、各領域ごとの習得度を把握することができる		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験模試を受ける	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験模試を解き、各領域ごとの習得度を把握することができる		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(こころとからだのしくみ)		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	各領域ごとに対策し、問題のポイントを整理する(医療的ケア)		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	苦手科目、低得点科目に対する補講の強化をする		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	苦手科目、低得点科目に対する補講の強化をする		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題を解く		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	過去・模擬問題集 ワークブック 各領域の教科書	問題集や解説集を使い、学習する。教科書でポイントを確認しておく。
		各コマにおける授業予定	過去問題・模擬問題を解く		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	生活支援技術Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	402・介護実習室
担 当 教 員	石浦敬子	実務経験とその関連資格	障害者支援施設にて10年勤務。実習指導者3年 介護福祉士/保育士/社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
介護現場(実習施設)での実際の介護技術について、事例をもとに学習する。また、疾病や障がいに応じた介護技術の応用も学んでいく。						
《成績評価の方法と基準》						
科目終了試験 70% 出席評価点 20% 平常評価点 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」 中央法規						
《授業外における学習方法》						
実習で学んだ介護技術(生活支援技術)を復習する 生活支援技術の基本・応用を教科書等で予習・復習しておく 関連する動画等も見ておく						
《履修に当たっての留意点》						
実習での体験や学びを発表し、共有していく場でもあるので自分の意見を伝えること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	実習の振り返りをする。(現場で学んだ介護技術を振り返る)		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	介護実習のまとめができるよう準備をする。教科書の指定部分を読んでおく	
	各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱ-Ⅱで学んだ内容を振り返る				
第2回	授業を通じての到達目標	実習の振り返りをする。(現場で学んだ介護技術を振り返る)		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	指定の用紙にまとめられるよう実習記録を準備しておく	
	各コマにおける授業予定	実習での技術の良かった点と改善点、疑問点をまとめる。				
第3回	授業を通じての到達目標	実習の振り返りを通して、介護技術の確認や復習ができる		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	発表の準備をしておく	
	各コマにおける授業予定	個人でまとめ、発表する。				
第4回	授業を通じての到達目標	1年生で学んだ介護技術の基本が理解できている(復習)		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。	
	各コマにおける授業予定	介護実習Ⅱで困難だった介護技術を振り返る				
第5回	授業を通じての到達目標	介護技術の基本が理解できている		最新 介護福祉士養成講座6・7「生活支援技術」配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。	
	各コマにおける授業予定	基本的な介護技術の復習ができ、応用につなげることができる				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる①	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる②	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験問題(実技)を実際に行うことができる③	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	手順シートの作成、実施する		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	肢体不自由のある人の介護技術の実践①		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	肢体不自由のある人の介護技術の実践②		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	認知症のある利用者に応じた介護実践③		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	視覚障害のある人に応じた介護実践④		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害に応じた介護技術を実践することができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	聴覚・言語障害のある人に応じた介護実践⑤		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	試験に向けての対策ができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	事例問題や障がいに応じた介護技術の復習をする		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	試験に向けての対策ができる	最新 介護福祉士養成講座6・7 「生活支援技術」 配布資料	教科書の指定の部分を読んでおく。介護技術の基本を復習しておく。
		各コマにおける授業予定	事例問題や障がいに応じた介護技術の練習をする		

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	介護の基本Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	402
担 当 教 員	石浦 敬子	実務経験と その関連資格	障害者支援施設にて10年勤務(実習指導者)/介護福祉士、社会福祉主事任用資格			
《授業科目における学習内容》						
国家試験等の傾向と対策において介護福祉士の知識・技術を確認する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験 70% 出席評価 20% 平常評価 10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
介護福祉士国家試験 過去問解説集、介護福祉士国家試験 模擬問題集、介護福祉士国家試験 受験ワークブック						
《授業外における学習方法》						
過去問題集や模擬問題集を活用し、問題に慣れる。試験の傾向を知り、対策をしていく。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験講座とあわせて履修する						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験の概要が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験の過去問を解く			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	国家試験の傾向を知る			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	各分野ごとに国家試験対策ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	第34回の国家試験の答え合わせ、解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目ごとに対策ノートを作成する			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする	
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳とコミュニケーション)の試験のポイントを整理する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(人間の尊厳と自立)の試験のポイントを整理する		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(社会の理解)の試験のポイントを整理する		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(介護の基本)の試験のポイントを整理する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(コミュニケーション技術)の試験のポイントを整理する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	各分野、各科目(生活支援技術)の試験のポイントを整理する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	模擬試験をし、学習の習得度が理解できる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	模擬試験の結果から、学習の習得度を分析する		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策ができる	模擬問題集・過去問解説集	問題を解き、根拠が理解できるようにする
		各コマにおける授業予定	過去問題を解き対策をする		